

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣部会(第23回)

日時：平成29年8月9日(水) 14:00～16:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - ・石垣カルテの作成について
 - ・天守台石垣の調査について
- 4 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣部会（第23回） 出席者名簿

日時：平成29年8月9日（水）14:00～16:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

（敬称略）

■構成員

氏名	所属	備考
北垣 聡一郎	石川県金沢城調査研究所名誉所長	副座長
赤羽 一郎	愛知淑徳大学非常勤講師	
千田 嘉博	奈良大学教授	
宮武 正登	佐賀大学教授	

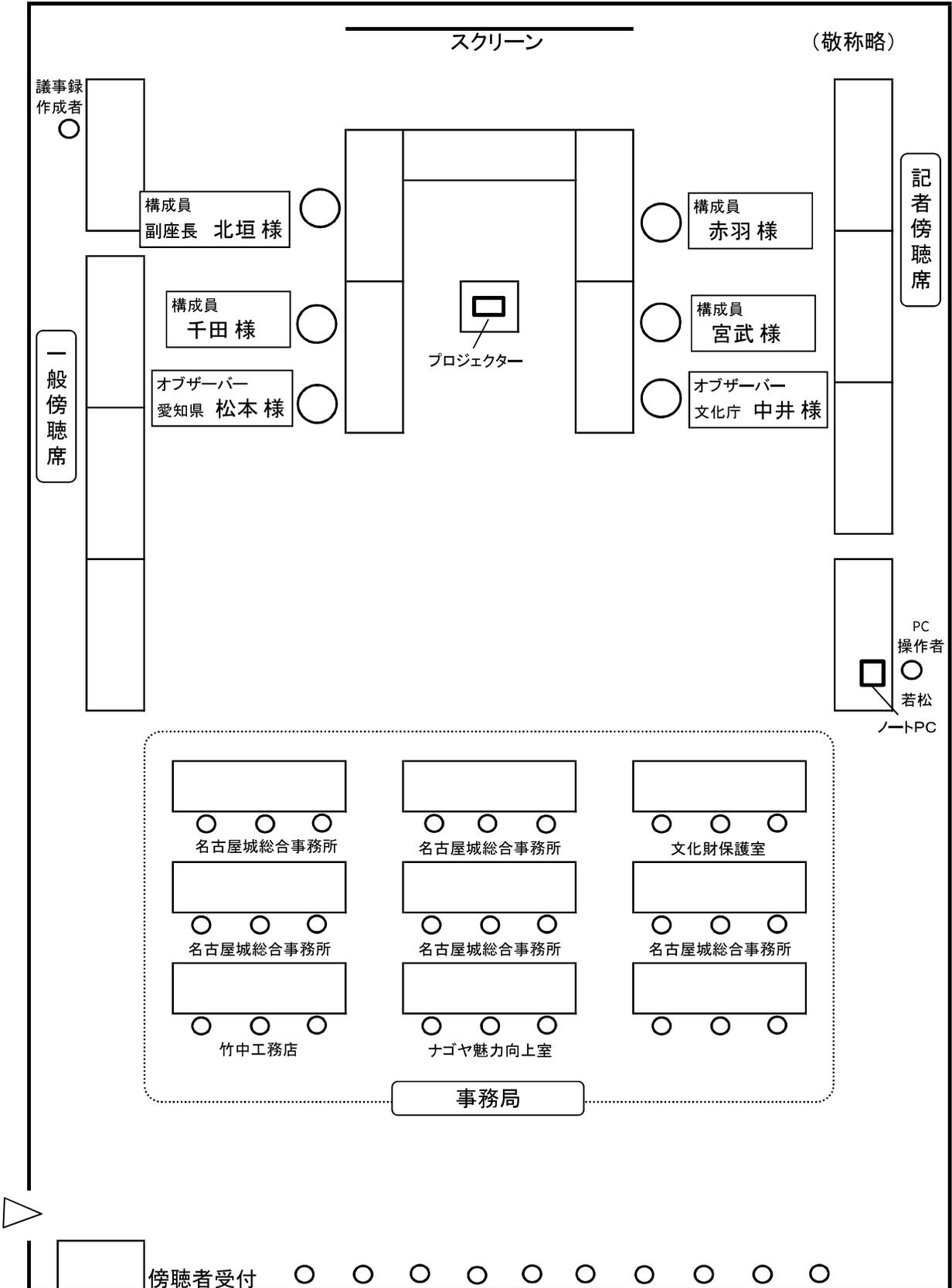
■オブザーバー

氏名	所属
中井 将胤	文化庁文化財部記念物課文化財調査官
松本 彩	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室主事

第23回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会

座席表

平成29年8月9日(水)
14:00~16:00
名古屋能楽堂 会議室



特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会（第23回）資料

日時：平成29年8月9日（水） 14:00～16:00

場所：名古屋能楽堂 会議室

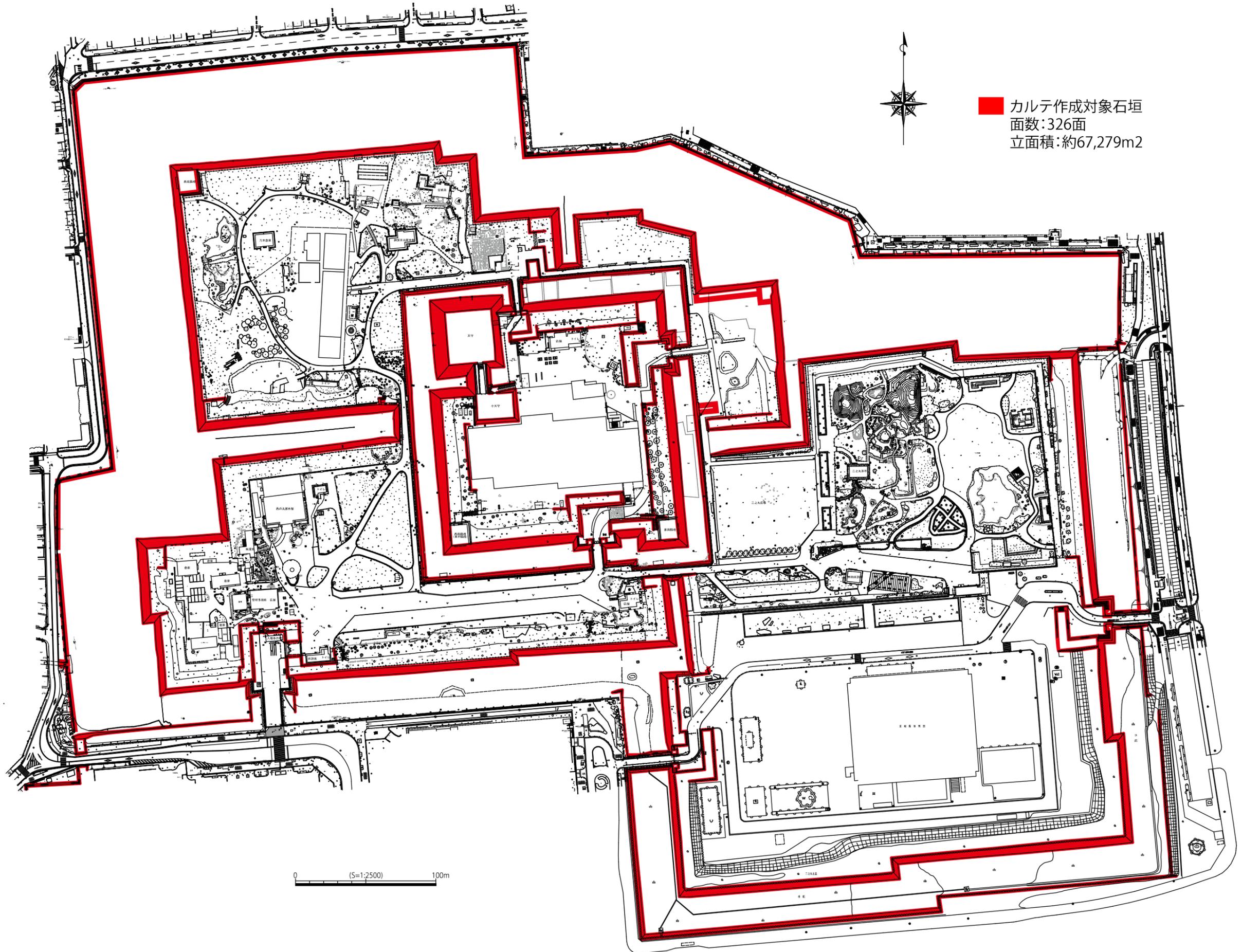
資料内容

石垣カルテの作成について…P1～5

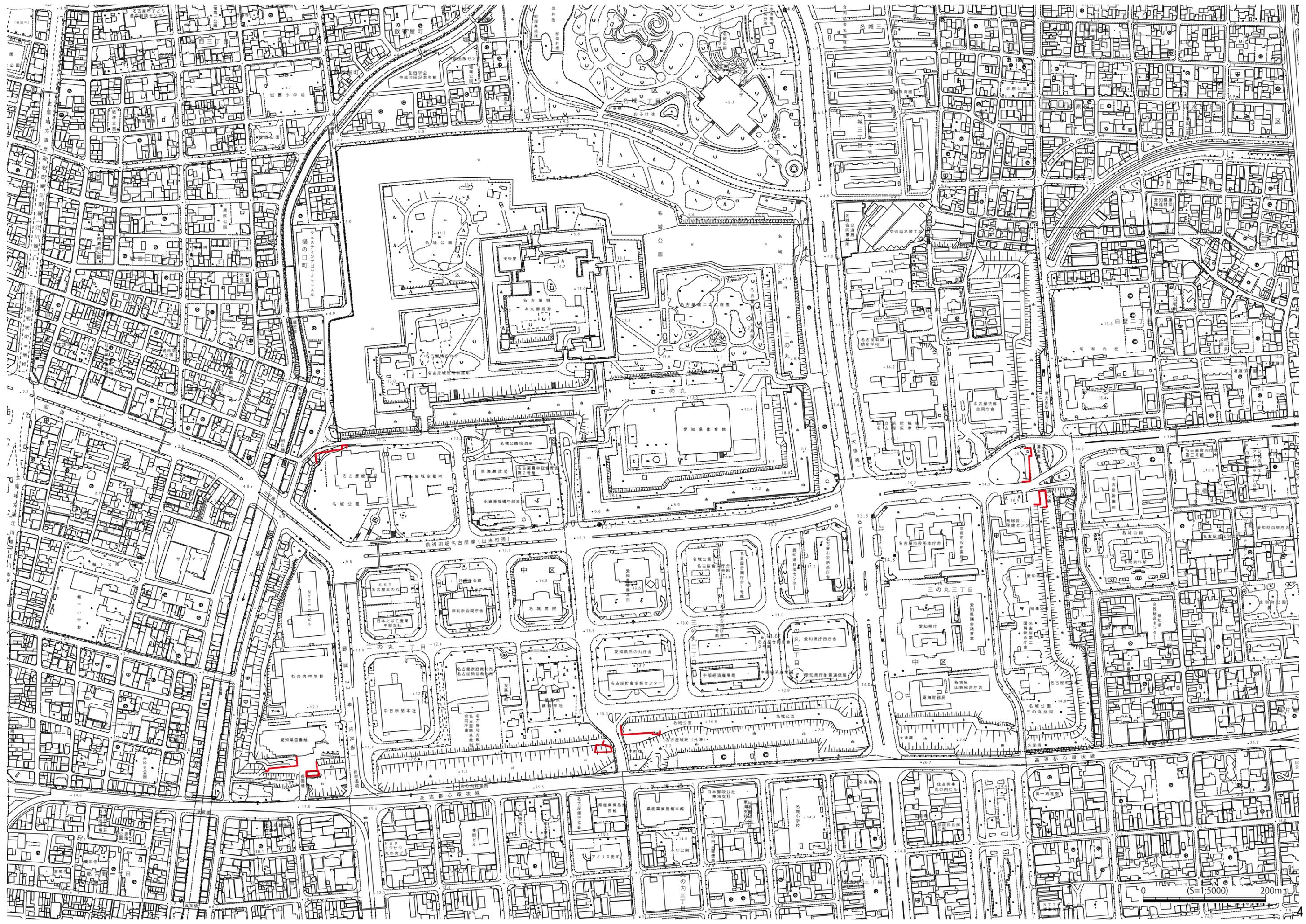
天守台石垣の調査について…別冊

項目	内容			
		中段	緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 壁面のへこみ 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 崩れ 樹木 その他	
		裾部	緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 壁面のへこみ 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 崩れ 樹木 前面土砂の堆積 立地地盤の異常 その他	
		観察事項		
		築石部	天端	緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 天端・上面の沈下等 その他
			中段	緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 その他
			裾部	緩み 割れ 表面劣化 被熱 迫出し 抜け落ち 孕み出し(局所) 孕み・抜け落ち 前倒れ 孕み出し(広範囲) 積み石の乱れ 崩れ 樹木 前面土砂の堆積 立地地盤の異常 その他
			観察事項	
			変形の観測	
			危険性	崩落等の可能性 利用上の危険性 危険度
			破損要因・特記事項	
			見取り図・写真	
			備考	
	図面・写真その他		素図	
			個別主題図	
			合成図	

石垣カルテ作成対象石垣（全範囲）



■ カルテ作成対象石垣
面数:326面
立面積:約67,279m²



名古屋女子大学
名古屋駅前センター

城西小学校

名古屋公園

天守閣

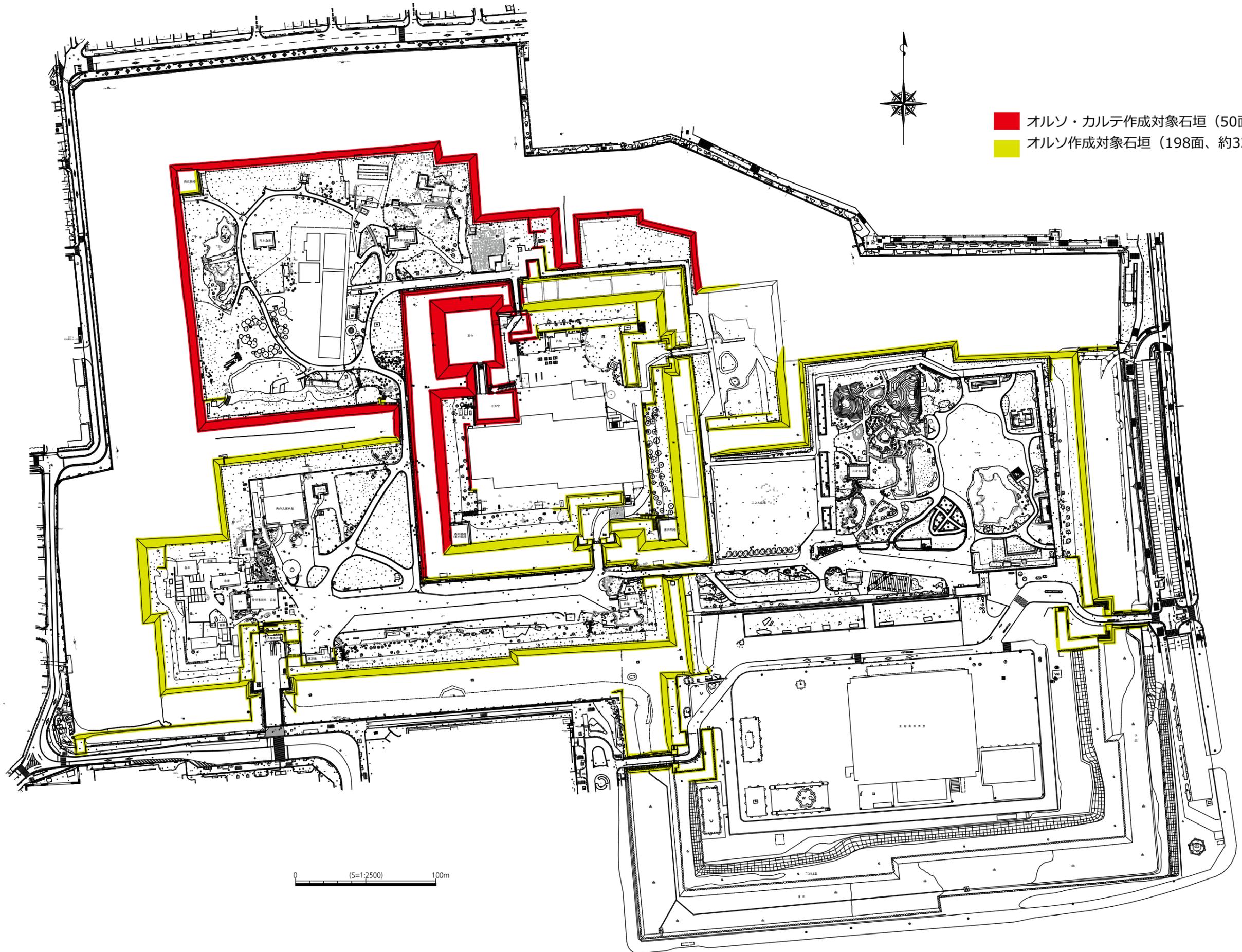
名古屋城
本丸御殿跡

愛知県体育館

名古屋公園

0 200m (S=1:5000)

石垣カルテ作成対象石垣（平成29年度）



- オルソ・カルテ作成対象石垣（50面、約16,680m²）
- オルソ作成対象石垣（198面、約33,286m²）

名古屋城天守台石垣の調査内容について（案）

項目	目的	内容
A, F 史実調査	石垣の変遷をたどることにより、今後の石垣の維持保全、文化財保護の観点から取扱い方針検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣がたどった変遷を調査 ・現天守閣再建時の石垣修理調査 ・地層レベルで内外の石垣の施工写真、施工記録の調査
B, G 石垣測量調査	石垣の現状を把握するための調査	<ul style="list-style-type: none"> ・立面図、縦横断面図、平面図、三次元点群データ作成
C, H 石垣現況調査 (石垣カルテ作成含む)	石垣の現状を把握するための調査	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣カルテ作成： 石垣の現状を把握 ・石材調査： 一石毎の刻印、墨書の有無、矢穴の有無と大きさ、表面加工など調査 ・劣化度調査： 一石毎の打音調査等 ・レーダー探査： 石垣背面の構造を把握するため表面からの探査
D 発掘調査	石垣の根入れ状況を把握するための調査	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣の根元の地盤の試掘
E 地盤調査	石垣が乗っている地盤の状況を把握するための調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング調査等を実施

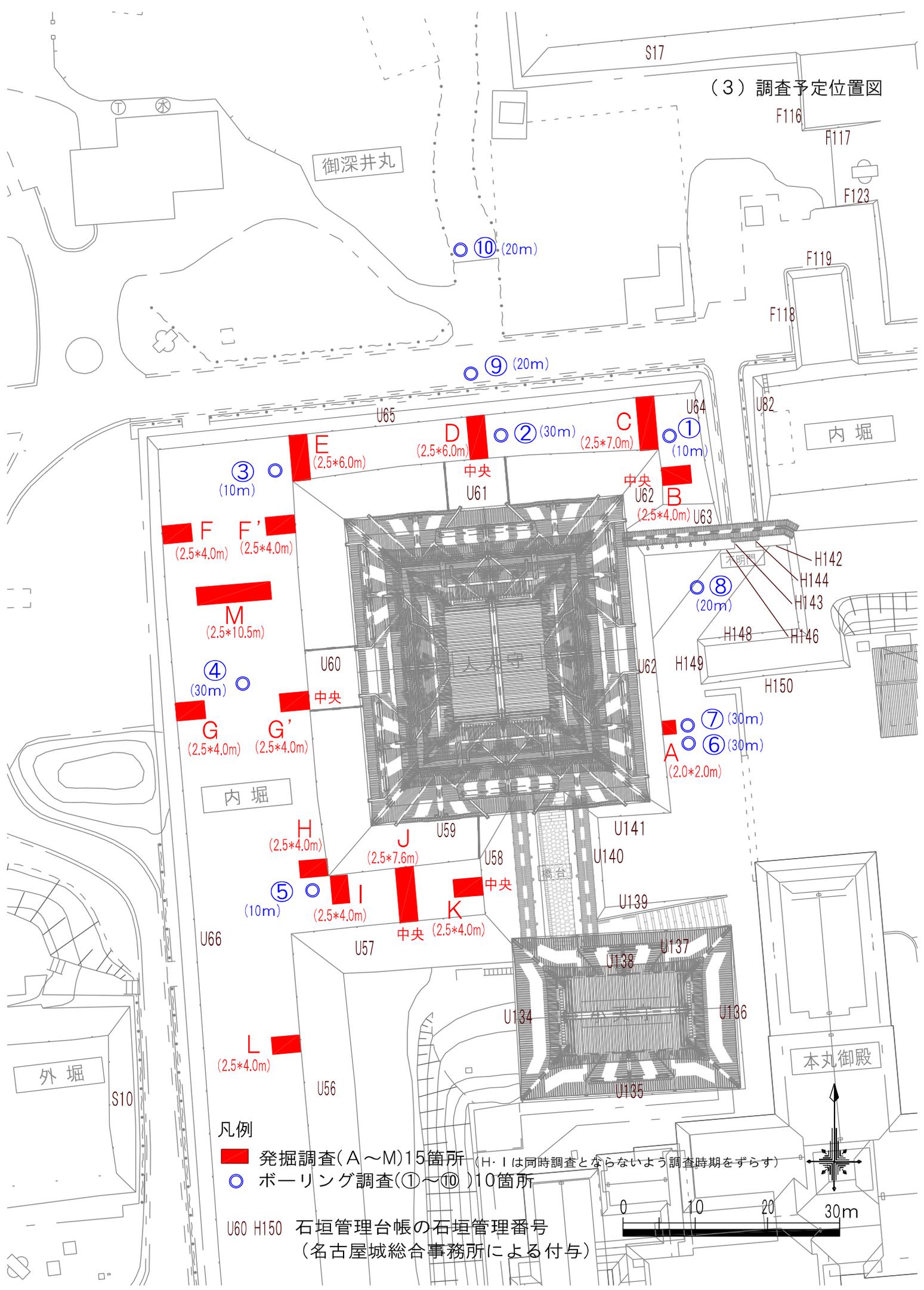


調査結果により追加の調査が必要であれば実施する
それらの調査の結果に基づき、適切に石垣整備の内容、工程を検討する

名古屋城天守台石垣調査工程（案）

	平成29年							平成30年							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
【外部天守台石垣の調査】															
A. 史実調査															
調査・報告書作成															
B. 石垣測量調査															
測量		写真測量					レーザー								
図面作成（立面図、平面図等）															
三次元点群データ図面作成															
C. 石垣現況調査、石垣カルテ															
石垣カルテ作成															
石材・打音・レーザー探査															
D. 発掘調査															
発掘調査			●					●							
E. 地盤調査															
ボーリング調査			●					●							
【穴蔵部分の調査】															
F. 史実調査															
調査・報告書作成															
G. 石垣測量調査（露出部）															
測量															
図面作成（立面図、平面図等）															
三次元点群データ図面作成															
H. 石垣現況調査、石垣カルテ作成															
石垣カルテ作成															
石材・打音・レーザー探査															

(3) 調査予定位置図



凡例

- 発掘調査(A~M)15箇所 (H・Iは同時調査とならないよう調査時期をずらす)
- ボーリング調査(①~⑩)10箇所

U60 H150 石垣管理台帳の石垣管理番号
(名古屋城総合事務所による付与)



石垣の調査、整備の考え方（案）について

<石垣調査、整備の考え方（案）>

- （１）適切に維持保全を行うため、十分に調査を行い文化財としての価値を高めていく
- （２）穴蔵部分などの戦災後や昭和の再建時の積み直しされたであろう石垣の修復については史料等により復元を目指すものとする
- （３）天守台石垣の調査を実施し、その後、調査の結果に基づき、適切に石垣整備の内容、工程を検討する

穴蔵石垣現場調査の検討

1 根石の確認について

穴蔵石垣の史実調査と測量調査を進めた結果、次のような可能性が高いことが分かってきた。

- ①戦災後、穴蔵石垣は積み直され、再建時にも部分的に積み直されている
- ②積み直された結果、一部当初の位置から変更されている。

本来の石垣の位置を確認するためにも、床スラブを一部取りこわし、根石の有無や位置を確認する調査が必要でしょうか

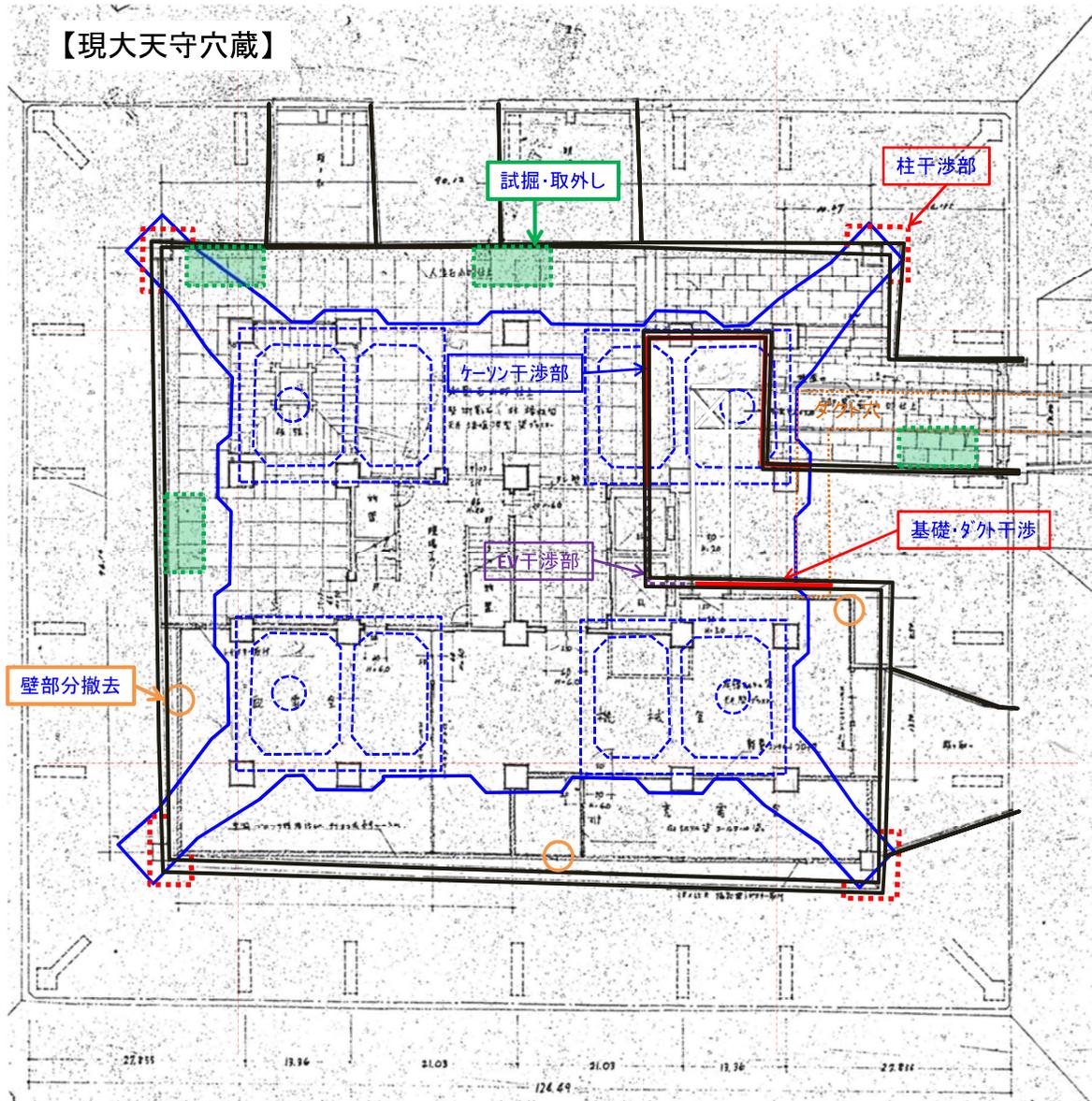
2 石垣背面の確認について

昭和25年の国庫補助申請書類において、穴蔵石垣内部にコンクリートを使用する計画図が添付されているが、史実調査ではその事実が確認できなかった。

今後レーダー探査で内部を調査する予定ではあるが、詳細な調査は困難であるため、一部石垣を取り外して内部を確認する必要があるでしょうか

■現天守穴蔵の石垣修理状況確認調査計画(案)

【現大天守穴蔵】



【現小天守穴蔵】

